

胃管挿入と胃洗浄

Insertion of a gastric tube and gastric lavage

坂口 将文* 竹熊 与志*
Masafumi Sakaguchi Yoshi Takekuma

◆key words: 胃管, 胃洗浄, 上部消化管出血, 急性薬物中毒

適 応 症

通常診療における胃管の挿入は、経口摂取困難な患者に対する経管栄養および投薬目的に留置されることが多い。しかし救急外来においては、上部消化管出血を疑う患者の胃内容物の確認といった診断目的、あるいは大量服薬症例に対する胃洗浄やイレウスにおける減圧といった治療目的に用いられる。

挿入に際しての準備物

胃管挿入に必要なものとして、胃管、栄養ボトル、キシリカイン®ゼリー、胃内洗浄液（微温湯または生理食塩液）、舌圧子、ペンライト、聴診器、腸洗浄液、活性炭などを用意する（図1、2）。胃管サイズは、成人は12～16Fr、小児は8～12Frとする。

経鼻胃管チューブの違い

経鼻胃管チューブの違いを図3、4に示す。

経鼻胃管挿入の実際

経鼻胃管挿入の手順を図5に示す。

胃 洗 浄

急性薬物中毒など、上部消化管内に薬物が貯留している状態では、原因物質の除去目的に胃洗浄が行われる。胃洗浄の際はより太いチューブを用いるため、胃管の挿入は経口的に行われる（図6）。

意識が清明な患者では嚥下を促しつつ挿入を行うが、意識レベルの悪い患者では胃洗浄に先立ち気管挿管が必要となる。気管挿管実施の意義として、①呼吸管理、②誤嚥予防、③胃管の気管内誤挿入防止、があげられる。

気管挿管後は患者体位を左側臥位とし、胃内容物が十二指腸側へ流出するのを防ぐ。挿入が経口である以外は上記の経鼻胃管挿入と同じ要領にて胃洗浄用チューブの留置・確認を行う。



図1 処置に必要な物品をあらかじめセットしておくと処置開始時に手間取らない



図2 当院救急外来では経管用チューブ10～18Frと胃洗浄用チューブ(12mm)を準備している

胃洗浄の適応と禁忌

1. 適 応

原則的に経口的に大量服薬したことが明らかで、かつ服薬から1時間以内とされている。ただし有機リン中毒など蠕動低下症例では1時間以上経過した場合でも胃内に薬物が貯留していることがあり、胃洗浄が有効なことがある。

2. 禁 忌

- ・病歴より食道胃静脈瘤が存在する可能性が高い場合
- ・明らかな出血傾向がある場合
- ・胃切除術後間もない場合(吻合部穿孔のリスクがある)
- ・消化管穿孔の可能性が高い場合
- ・原因薬剤が石油系溶剤の場合(嚥下性肺炎のリスクがある)

胃洗浄処置の実際

胃洗浄処置の手順を図6に示す。

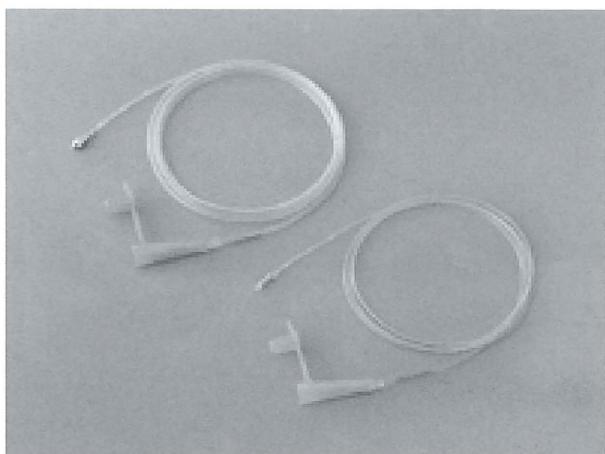
* 熊本赤十字病院消化器内科



[文献1]より引用]

材質：ポリウレタン、特徴：シングルユース、先端に孔が多くドレナージに有効

図3 洗浄・ドレナージ用チューブ



[文献2]より引用]

材質：シリコン、特徴：やわらかく挿入時にガイドワイヤーが必要、長期留置に有用

図4 経腸栄養用チューブ

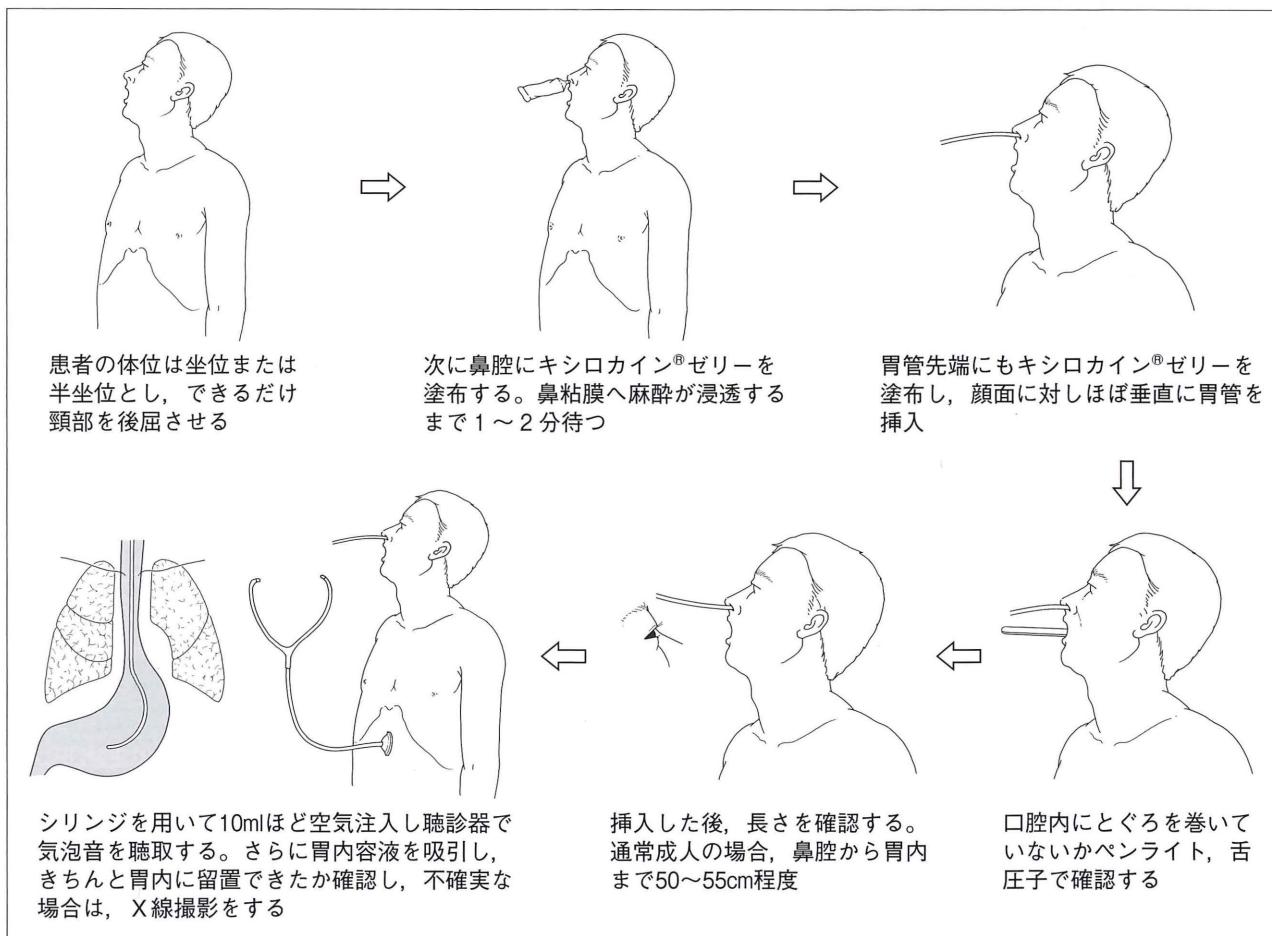


図5 経鼻胃管挿入の手順

その他注意点

ピクリン系農薬の場合、胃内で酸と混ざり有毒ガスを発生する危険性がある。実際、当院でも2008年5月にピクリン系農薬中毒により救急室内で有毒ガスが発生するという事故をきたした。そのため、以後当院では詳細不

明農薬中毒患者に対する処置は原則救急室外あるいは重症個室（陰圧換気）にて行っている。

中毒に関する応急処置の問い合わせ

大阪中毒110番

TEL 072-727-2499 (365日24時間)

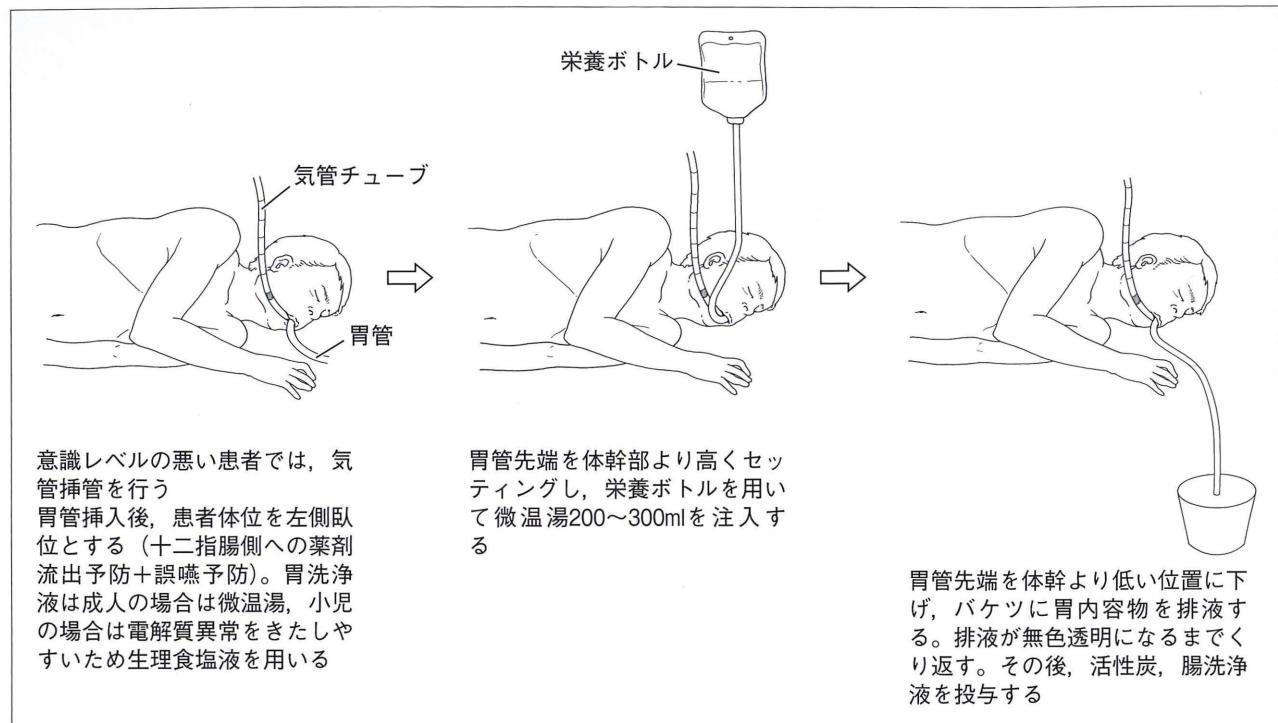


図6 胃洗浄処置の手順

072-726-9923 (医療機関専用有料電話：1件につき2000円)

つくば中毒110番

TEL 029-852-9999 (365日 9時～21時)

029-851-9999 (医療機関専用有料電話：1件につき2000円)

タバコ専用電話 (情報料：無料、テープによる一般市民向け情報提供)

TEL 072-726-9922 (365日24時間)

【文献】

1) 農林水産省消費・安全局農産安全管理課監：農薬中

毒の症状と治療法、第10版、2010。

2) American Academy of Clinical Toxicology : Position statement.

<http://clintox.org/positionstatements.cfm> (accessed 2012-03-01)

3) テルモ.

http://www.terumo.co.jp/medical/products/08_haieki-kanryu/haieki-kanryu_05.html (accessed 2012-03-01)

4) 富士システムズ.

<http://www.fuji-sys.jp/article/13440659.html> (accessed 2012-03-01)

救急医学

2011年7月号

好評発売中！

定価2,520円(税込)

特集●侵襲と生体反応；基礎から捉え、新たな潮流を学ぶ